

《事故情報》

ヘリウムガス容器破裂事故

(一社) 大阪府高圧ガス安全協会
事務局

本年8月、倉庫内に長期保管されていたヘリウムガス容器が破裂しました。幸いにも物的被害のみで人的被害はありませんでした。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

- (1) 発生日時：2020年（令和2年）8月16日（日） 16時45分頃
- (2) 発生場所：山梨県南アルプス市野牛島
- (3) 物的被害 倉庫壁の破損
隣接する民家のブロック壁破損
- (4) 人的被害 なし
- (5) 事故原因 報道では「猛暑により容器内のガスが膨張した事による破裂」と記載されていますが詳細は不明。
但し、数年間倉庫に放置されたままということから容器腐食による破裂も考えられます。

自社容器置場における容器保管状況の確認に加えて、お客様（事業者の他に一般消費者）に容器保管状況を確認していただきましょう。

長期保管容器を確認された場合は、販売店へ返却するよう指導をお願い致します。

2. 報道記事（添付します）

- (1) インターネット情報
- (2) 新聞記事

以 上

猛暑でガスボンベ破裂か 衝撃で壁など壊れる

FNNプライムオンライン

猛暑でガスボンベ破裂か 衝撃で壁など壊れる

FNNプライムオンライン 2020/08/18 06:42



© FNNプライムオンライン

連日続く猛暑により、ガスボンベが破裂したとみられている。

16日、山梨・南アルプス市の倉庫で、ヘリウムガス入りのボンベが破裂し、その衝撃で、倉庫の壁や近くの住宅の扉などが壊れた。

けが人はいなかった。

倉庫の中の温度はかなり高くなっていて、ボンベ内の圧力が上昇し、破裂した可能性があるという。

行試験

%低減させ、消費電力や騒音を抑えた。地上と車それぞれ設置したコイ利用して発電する電源装置用。燃料を積まない分、

軽量化でき、排ガスも出さず環境負荷も減らした。前方を確認しやすくするため、前照灯とカメラの位置は従来の先端部から先頭車両の上部に変更した。
実験線では昨年10月に走行試験を停止し、改良型試験車

の導入に向けた作業を進めていた。今年5月の試験再開を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止で準備作業に関わる人員を限定するなど対応を見直したため、遅れが生じていた。

〈土屋圭佑〉

溺れる

意識不明

南消防本部などによ
男性は15日から友人と湖畔でキャンプをし、
11時ごろから湖を
て溺れたという。友
にいた人が救助し
ぐのキャンプ場など
、男性が溺れた場所

の水深は10メートル以上で、湖岸から10〜20メートル離れた場所。男性と友人は、いずれもライフジャケットを着用していた

かっただという。

署などが事故の原因を調べている。

〈報道部、地域報道部〉

風船用ボンベ破裂

南ア 倉庫の壁など破損

16日午後4時45分ごろ、南アルプス市野牛島、農業手塚公子さん(76)方の倉庫で、ヘリウムガスが入ったボンベが

破裂した。倉庫の壁やプロック扉などが壊れたが、けが人はなかった。南アルプス署は気温上昇でガスが膨張し、破

裂したとみて調べている。

署によると、ガスボンベは高さ1.46メートル、直径23センチ。爆風で倉庫の壁など約5平方メートル隣接するブロック壁約0.6平方メートルに隣接する家屋の扉1枚などが破損した。手塚さんは事故当時、留守にしていたが、隣家には住民2人がいたが、けがはなかった。

ガスボンベは手塚さんの家族が仕事で風船を膨らませるために使い、数年前から倉庫に置いたままだったという。署は気温の上昇でガスが膨張し、ボンベの内圧が高まって破裂したとみて調べている。

隣家の70代女性は「聞いたことのない大きな音と窓ガラスが割れる音がして驚いて外に出た。けがをしなくてよかった」と話していた。

〈報道部、地域報道部〉

ルガリア)らの感染が相対で判明した。

ラグビー部

24人が感染

強豪として知られる天理(奈良県天理市)ラグビー部の部員24人が新型コロナウイルスに感染したことが17日分かった。奈良県や天理市、同日までに発表した。県はラグビー部(感染者集団)が生じたとみており、部は当面休止する。

県や大学によると、ラグビー部では12日に部員1人感染が判明。濃厚接触者の調査の結果、さらに23人の感染が確認された。いずれもか無症状という。

168人の全部員が感染しており、他の部員の人検査で陰性となり、89人も順次検査する。6人は陰性だった。